

My Town Topics

地域の行事や身近な話題、耳よりな情報をお待ちしています。

↓特殊車両を使用して炊事訓練する隊員

★ 不審者対応合同研修会 子どもたちを守るための訓練

阿久根警察署の協力により、町教育委員会は5月13日に獅子島中学校、14日に長島中学校で不審者対応合同研修会を開きました。

教職員を対象としたこの研修会には、町内の各学校から管理職や安全指導係などが出席。「刃物を持った不審な男」が学校に侵入してきた」を想定し、さすまたを使った取り押さえ訓練などを実施しました。想定どおりにはいかないことも多く、参加者は改めて訓練の重要性を感じていました。



↑不審者役の警察官を取り押さえる教職員（長島中学校）



★ 陸上自衛隊が防災訓練 閉ざされた長高跡地を初活用

平成19年3月に閉校した長島高校跡地を拠点として5月12日から15日の4日間、陸上自衛隊が防災訓練を実施しました。

訓練に訪れたのは、大規模災害発生時などに本町の復旧を直接担当する国分駐屯地第12普通科連隊第2中隊です。今回は町内の地形探察や沿岸監視、野外炊事訓練などを行いました。

町では、同校跡地の活用方法について、県と協議を進めています。

★ 離島漁業再生交付金事業の一環 カサゴの稚魚1万5千尾放流

稚魚放流を通して、自然保全の精神を培おうと幣串小学校は5月29日、地元漁業者の協力により、カサゴ（アラカブ）の稚魚を放流しました。

この取り組みは、「離島漁業再生交付金事業」の一環で、児童たちは幣串漁港のごみを拾った後、浮桟橋周辺でカサゴの稚魚1万5千尾を海へ放ちました。

放流に先立ち幣串地区漁協総代の割地一人さんが「ごみ拾いなどで港をきれいにしてくれてありがとう。きれいになった港で、カサゴが大きくなるのを楽しみにしてください」とあいさつ。児童たちが「かわいいなあ。元気に大きくなってね」と稚魚をゆっくり海へ放つと、体長5センチほどの稚魚たちは元氣よく幣串の海に泳ぎだしました。



↑幣串漁港で一列にならび稚魚を放流する児童たち